

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第2回上越市白山会館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和元年度 上半期事業の報告について（公開）

(2) 令和2年度 社会同和教育事業について（公開）

3 開催日時

令和元年9月2日（月） 午前10時から11時10分

4 開催場所

白山会館 多目的集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：寺田委員長、渡邊副委員長、青山委員、上野委員、山岸委員、宮下委員、井上委員、中村委員、浦澤委員、西山委員

・事務局：社会教育課 小嶋課長、福山副課長、古川係長、古澤主事、笠原社会教育指導員、鬼木社会教育指導員

8 発言の内容（要旨）

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 議 事

① 令和元年度 上半期事業の報告について

— 資料に基づき事務局説明 —

中村委員：小中学生学習会について、中学生の対象者数が1人となっているが、

その他に参加している子どもの内訳を教えてください。

事務局：対象者の友人が2人、高校生が4人程度参加している。高校生は、中学生のときに参加していた子どもが、引き続き参加している。

寺田委員長：高校生はどのような学習をしているのか。

事務局：各自持参した宿題等に取り組んでいる。

事務局：教職員等現地学習会や人権を考える講話会の中で、本人通知制度への登録を促す説明を行っているが、夏休み期間中では100人を超える参加者から登録申請をいただいた。委員の中でまだ登録していない方は、ぜひご協力いただきたい。

寺田委員長：人権を考える講話会の講師派遣事業について、これまではどのくらいの件数があつたのか。

事務局：3年ほど前は年間7～8団体からの要請を受けて開催していた。ほとんどが高等学校や特別支援学校であり、現在は教職員等現地学習会への参加に移行しているため、開催件数は減少している。

寺田委員長：同和問題をはじめとした人権問題に触れる貴重な講話会であるが、開催していること自体、知らない人が多い。周知はどのように行っているか。

事務局：学校や地域青少年育成会議には年度末に案内を送付している。市民啓発の観点から、今後は、その他の地域団体に向けた働きかけを考えていく必要がある。

② 令和2年度 社会同和教育事業について

— 資料に基づき事務局説明 —

寺田委員長：白山会館開館50周年記念事業に向けた準備として、必要な施設の修繕等を検討していかなければならない。

(4) その他

① 第72回全国人権・同和教育研究大会新潟大会の開催について

— 資料に基づき事務局説明 —

中村委員：メイン会場となるリージョンプラザ上越には何人収容できるのか。

事務局：初日の全体会は、大会参加予定人数7,000人の約7～8割が参加する想定であり、できる限りメイン会場に入ることができるように検討している。昼食会場の関係があり、サブ会場を設定する予定である。

② 白山会館開館50周年記念事業について

— 資料に基づき事務局説明 —

(5) 閉会

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係 TEL：025-545-9245（内線 1263）

E-mail：shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。